

11月3日に中央公民館で行われた
第33回「少年の主張」大会。
町内の小学5・6年生、中学生の代表者
15人が自らの思いを主張しました。

少年の主張



今伝えたいことがある



小学校5年生の部



主張した子どもたち (敬称略・写真左上段から)

- ✿松野 香利 (室木小) 『お米作りの楽しさ』
- ✿安永 匠汰 (新延小) 『世界平和に向けての小さな一歩』
- ✿宮ヶ谷磨八郎 (西川小) 『「生きる」ということ』
- ✿貝崎ひなた (剣北小) 『成長するって心地いい』
- ✿甲斐虹太郎 (古月小) 『僕を変えた言葉』
- ✿木龍 花音 (剣南小) 『命を守るために』

主張した子どもたち (敬称略・写真左上段から)

- ✿田代 遥花 (室木小) 『小さな勇気をもって』
- ✿合原 琉要 (新延小) 『ぼくの挑戦』
- ✿宮谷 若菜 (西川小) 『森林と共に生きる』
- ✿白木亮太郎 (剣北小) 『まわりの人を大切にすること』
- ✿花田 涼輔 (古月小) 『いつかドイツのように』
- ✿浅田 義和 (剣南小) 『あきらめない気持ちと自信』



小学校6年生の部



中学生の部

主張した子どもたち (敬称略・写真左から)

- ✿寺本 瑠奈 (鞍手中1年) 『私の親戚』
- ✿井上 歌音 (鞍手中2年) 『私たちにできること』
- ✿西塚 百香 (鞍手中3年) 『東日本大震災によって』

教育長講評

今年の少年の主張大会は、どの内容も自分が体験したり、じっくり考えたりしてしっかりした論旨に基づいた内容でした。発表の態度につきましても、落ち着いて堂々と発表ができており、発表者の皆さんがいかにも練習に励まれたかがうかがえました。

自分の体験から、他人事ではなく今自分にできることを考えて具体的に行動し、前向きに成長していこうとする姿を感じ取ることができました。また、発表者の鋭い感性や豊かな表現力、生き生きとした表情、真剣なまなざしを目の当たりにして、本当に強く感銘を受けました。私たち大人が気が付かなかった学ぶべき内容がたくさんあったと思います。素晴らしい発表をありがとうございました。